

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0910
施設名	敬愛ハーモニー保育園
施設所在地	八王子市大和田町2-20-2
法人名	社会福祉法人敬愛学園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

海と食と環境

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園では、日頃より食育を大切にし、毎年、園の納入業者である鮮魚店が来園して園児の目の前で魚をさばき話をしていただく機会を設けています。またSDGsについても法人をあげて取り組み、ゴミ拾いなど環境の取り組みを日頃より行っています。その中でも4歳児クラスは、ゴミに興味があることから、主に4歳児が「海と食と環境」についての体験を重ね、学びを深め、それを他クラスにも発信していくこととしました。

2. 活動スケジュール

4月 公園のゴミ拾いを通して、ゴミを減らす活動
5月の遠足でクリーンセンター（ゴミ処理施設）見学
6～8月 SDGsの本に興味を持つ
8月30日 防災の日の話 防災の取り組み
9月12日 鮮魚店による「お魚屋さんのはなし」
10月 クリーンセンターの方による ゴミ投入体験やリサイクルの話

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・SDGs関連の書籍を揃え、専用の本棚を設置。
- ・いつでも興味関心のあるものを調べることができるように電子黒板を用意。
- ・その都度、お子さまから必要だと話があった懐中電灯や非常食。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自分たちの遊んでいる公園にゴミがあることに気が付いたお子さま達はゴミ拾いをはじめた。なかなか減らないゴミに、減らすためにはどのようにしたらいいか考え、ポスターやゴミ箱作りをすることに。その後、そのゴミがどこにいくか気になり、遠足の行き先を地域のクリーンセンターに決めた。

秋には、リサイクル体験、ゴミ収集車にゴミを入れる体験へとつながっていった。その中で食べ物のゴミの多さに気が付き、食物の大切さを改めて感じる事ができた。また鮮魚店による魚についての話を聞く中で、大切な資源である魚、そして魚が住む海の環境の大切さ、海のプラスチックゴミ問題などにも意識を向ける事ができた。更に園で設けた防災週間や様々な絵本を通して、水の大切さにも気が付き、決まった水で一日過ごす取り組みやペットボトルラン作りにも挑戦した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

身の回りや魚たちの住む海の大切な環境のために、どのようにしたら食べ物やプラスチックも含めたゴミが減るのか、「こうしたら?」「こうするといいよ」と様々なアイデアを出しながら試行錯誤して、意欲的に取り組む姿が見られた。お子さまの提案を形にしようと陰ながら環境を整え、支える担任の姿が素晴らしかった。

今でもゴミに気が付くと拾う姿があり、お子さまに強く根付いていることがわかる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・公園にあったゴミから、お子さま達の興味関心がここまで広がっていくことに驚いた。
- ・お子さまの発想は豊かで、興味を持ったことには継続して取り組む姿が見られた。
- ・今、このようなすくわくの取り組みをしていくことでお子さまに根付き、持続可能な未来へとつながっていくことを感じた。